

日本植生史学会ニュースレター

No.26 March 1, 2012

IPC/IOPC 東京大会の参加学生に対する補助金のお知らせ、植生史研究バックナンバーの価格改定のお知らせ、第8回日本植生史学会奨励賞のご案内、第27回日本植生史学会大会のご案内（第1報）、第34回日本植生史学会談話会のご案内、第8期日本植生史学会役員のご案内など

IPC/IOPC 東京大会の参加学生に対する補助金のお知らせ

日本植生史学会が後援する第13回国際花粉学会議と第9回国際古植物学会議の合同大会（IPC-XIII/ IOPC-IX 2012）が2012年8月23日-30日に日本（東京、中央大学）で開催されます。日本植生史学会では、この会議のIPC/IOPC2012 協力委員会共催シンポジウムで講演を行う学生会員（常勤職に就いていない者も含むが本学会員に限る）に対し、1人5万円（最大6人まで）を参加費等に充てるための補助金として助成します。詳細は、3月中旬頃にメーリングリストおよび学会ホームページにてお知らせします。

共催シンポジウム一覧

1. Paleofloristic and paleoenvironmental changes in Asia throughout the Mesozoic : palynological and fossil wood evidence (H. Nishida, M. Philippe, K. Terada, J. Legrand)
2. Uplift of the Himalaya and its impact on the climatic and vegetational changes in East Asia (Z.K. Zhou, A. Momohara)
3. Use and management of plant resources in prehistoric periods in East Asia (S. Noshiro, Y. Kudo)
4. Recent progress of paleoethnobotanical studies on origin of agriculture in East Asia (H. Obata, H. Nasu)
5. Late Cretaceous and Tertiary Woods. Ecological, Systematic, and Biogeographic Insights from the Fossil Wood Record (K. Terada, K.S. Kim)
6. Environmental and cultural dynamics of the last 21,000 years, with emphasis on prehistorical agriculture in East Asia and other places of the world (W.M. Wang, H. Takahara, S.H. Yi)
7. The evolutionary history of conifers that are now endemic to Asia (A. Yabe, B.A. LePage)
8. Evolutionary novelties in Land Plants (T. Yamada, H. Nishida)

植生史研究バックナンバーの価格改定のお知らせ

植生史研究のバックナンバー及び植生史研究特別号について、一部価格を改定しましたのでお知らせします。

- ◆ 植生史研究 10巻1号-17巻2号：旧価格 750円→新価格 500円
- ◆ 植生史研究特別第2号：旧価格 3,000円→新価格 1,000円

第 8 回日本植生史学会奨励賞のご案内

日本植生史学会表彰規定に則り、第 8 回奨励賞の候補者を募集します。奨励賞は、植生史学の発展に将来貢献すると期待される 35 歳未満の会員を対象に、2 年に 1 回審査委員会が公募による候補者から決定します。2010 年度総会において、審査内容を単一の論文に対する評価から業績の総合評価に改正しました。候補者は自薦、他薦を問いませんので、会員の皆様には多数の応募をお寄せいただくよう、よろしく申し上げます。

◆ 候補者の要件

植生史学の分野で優れた研究を行い、将来の発展に貢献すると期待される会員

公示日（2011 年 11 月 6 日）において、35 歳未満の会員

本学会誌の原著論文または総説に第 1 著者として 1 編以上の論文が掲載され、かつ本学会年度大会で第 1 著者として口頭発表、ポスター発表、またはシンポジウム発表のいずれかを 1 回以上行った実績のある会員

◆ 応募方法

所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、学会事務局まで電子メールか郵送で送付してください。応募締め切りは、2012 年 4 月 30 日（必着）とします。応募用紙は、学会ホームページ (<http://www.hisbot.jp/news/index.html>) からダウンロードできます。応募用紙に記載された個人情報は、奨励賞選考以外の目的では使用しません。審査終了後は速やかに破棄し、応募者への返却は行いません。

送付先メールアドレス hbmain@histbot.jp

送付先電話番号 045-339-3425

送付先住所 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2

横浜国立大学教育人間科学部 吉田圭一郎（日本植生史学会庶務幹事）

◆ 審査方法

奨励賞審査委員会により、植生史学会での業績だけでなく、他学会や国際的に公表された論文、研究発表に対する業績の内容を総合的に判断します。審査委員会は、受賞者を 2012 年 7 月末日までに決定し、総会にて報告します。なお受賞者には、年度大会で受賞記念講演を行っていただきます。受賞者には、表彰状および副賞として研究奨励費 3 万円が授与されます。

第 27 回日本植生史学会大会のご案内（第 1 報）

第 27 回日本植生史学会大会を下記の日程で開催します。

◆ 日 時

11 月 23 日（金） 午前：幹事会、評議員会

午後：公開シンポジウム、奨励賞授与式及び受賞記念講演、懇親会

11 月 24 日（土） 午前・午後：一般研究発表（口頭・ポスター）、総会

◆ 会 場 アオーレ長岡（新潟県長岡市 JR 長岡駅前）

◆ 主 催 日本植生史学会

◆ 大会実行委員 荒川隆史（委員長）、加藤正明、渡邊裕之、西本 寛、庄田慎矢、佐々木由香

◆ 公開シンポジウム「越後平野の原風景、縄文人と森とのかかわり」

オーガナイザー 荒川隆史（新潟県教育庁）

趣旨：縄文時代の集落では、食料・建材・燃料材など生活に不可欠な物資を森林から調達していた。越後平野の縄文集落からは膨大な数の木材や堅果類が出土しており、丘陵から離れた居住地でも森林資源を豊富に利用していたことが明らかになっている。低湿地という立地環境のもと、縄文人が森林資源をどのように確保し利用していたかが問題となっている。そこで、考古学・年輪年代学・植物学による出土資料の分析と、現生林の調査によ

って得た実証的データとの比較・検討をつうじ、縄文集落の形成と森林利用について時間・空間的に考察したい。

◆ 巡検のご案内

テーマ：「佐渡の天然スギ」（第35回日本植生史学会談話会）

世話人：本間航介、荒川隆史、渡邊裕之

日 程：11月24日（土）～11月25日（日）の1泊2日

11月24日（土）大会終了後出発（17時頃） 佐渡両津港泊

11月25日（日）巡検 新潟大学演習林など 夕方新潟港解散

参加費：20,000円～22,000円程度（3食付き・カーフェリー利用の場合）

定 員：30名程度

- ◆ 大会・巡検等の申し込み方法等の詳細は8月頃にご案内する予定です。一般研究発表の申し込み締め切りは、9月上旬頃になる見込みです。

第34回日本植生史学会談話会のご案内

2012年4月28～30日に第34回日本植生史学会談話会を開催します。

◆ テーマ：韓国東南部の植生と植物利用

内 容：世界遺産である古都慶州の南に位置する南山は、仏教露天博物館とも呼ばれるほど多数の寺址や石仏が、マツ林を中心とする美しい自然景観と調和していることで知られています。この談話会では、南山を中心とする地域の植生や景観を観察する傍ら、種類の豊富なナムルや薬草など韓国独自の植物利用法の実際、そしてこうした植物利用が新石器時代にまで遡る可能性を示す遺物などを見学します。

◆ 案内人：安在皓

◆ 世話人：庄田慎矢・佐々木由香

◆ 日 程：

1日目 13時15分 釜山空港集合 慶州へ移動、薬草の村を訪問（交渉中）もしくは在来市場見学 慶州泊

2日目 慶州南山の植生観察／東国大学校博物館で鱗茎付着土器など細竹遺跡出土遺物の見学 慶州泊

3日目 国立金海博物館見学／12時30分 釜山空港で解散

天候や現地状況等により、コースを変更することもあります。

- ◆ 参加費：30,000円～40,000円（バス代、宿泊費（2泊）込み。食事代は別途必要）談話会開始1ヶ月以内にキャンセルされる場合は、キャンセル料金がかかりますので、ご承知下さい。

- ◆ 釜山空港までの往復の交通は各自でご予約下さい。また保険は各自でご加入下さい。

- ◆ 釜山空港までのフライト案内

[関西空港発着]

JL5233 関西空港発 11:25—釜山空港着 12:50 JL5154 釜山空港発 16:30—関西空港着 17:55

[成田空港発着]

JL957 成田空港発 10:00—釜山空港着 12:15 JL958 釜山空港発 14:15—成田空港着 16:15

- ◆ 定 員：17名

- ◆ 申込締切：3月23日（金）ただし定員になり次第締め切ります。

- ◆ 申込先：danwa34@hisbot.jp

- ◆ 申込方法：メールのタイトルを「第34回談話会申込み」として、次の事項を記載の上、danwa34@hisbot.jp 宛にお申し込み下さい。①氏名・所属、②連絡先（住所、電話番号、E-mail）

第 8 期日本植生史学会役員のご案内

第 8 期日本植生史学会役員は以下の通りです。なお、任期は 2011 年 10 月 1 日～2012 年度大会までとなります。

- ◆ 会 長：守田益宗
- ◆ 評議員：南木睦彦、松下まり子、紀藤典夫、辻誠一郎
- ◆ 幹 事：西田治文（事務局長）、吉田圭一郎（庶務）、松本みどり（会計）、西本寛（広報・渉外）
- ◆ 編集委員会：能城修一（委員長）、工藤雄一郎（副委員長）
- ◆ 行事委員会：佐々木由香（委員長）、庄田慎矢（副委員長）
- ◆ 自然科学会連合担当幹事：藤井伸二
- ◆ ICP/IOCP2012 協力委員会：能城修一（委員長）、小畑弘己（副委員長）

事務局：

- 連絡・問合せ 庶務幹事 吉田圭一郎 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷常盤台79-2横浜国立大学教育人間科学部
TEL：045-339-3425 庶務：hbmain@hisbot.jp 会誌投稿：hbjournal@hisbot.jp
- NL編集、ホームページ・企業広告問合せ 広報・渉外幹事 西本寛 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp
- 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行
〒166-8532 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本植生史学会事務局
Tel：03-5307-1175 Fax：03-5307-1196 Mail：hisbot@univcoop.or.jp
- 学会ホームページ <http://www.hisbot.jp/>